

二十一日午後十七時頃世田谷区にある有名進学校「双隻学院高等学校」下駄箱付近で、茫然自失の女子生徒と同学校の男子生徒が頭から血を流して倒れているのを付近を通りかかった。メディア関係者が一一〇番が通報に応じ、駆けつけたところ、男子生徒は後頭部

に打撲痕と額が大きく裂け既に死亡していた。調べでは、男子生徒は後方から鈍器で殴られたあとで裂けた傷を作った様子であり、二二日に世田谷区病院で司法解剖をした結果、頭部外傷による出血性シック死と分かった。



### ▲ 国立双隻学院高等学校

世界初の双人と隻人の両方の生徒が通える共学校。被害者と被疑者はこの学園の先輩、後輩の関係にあった。

# 有名進学校の闇

## 身の回りの物を使った凶器『サップ』

▼ 事件後に容疑者の女生徒から押収された、サップの材料に実際に使われた物。



現場にいた女性徒は、男子生徒の殺害を行つたと自首しており、警察は詳しい事情聴取と、女生徒の関係、周囲の環境などから、女生徒がどうしてその生徒が行為に及んだのか調査進めている。また、女生徒の裁判は、後日東京高等裁判所にて行われる予定である。女生徒は、「ザップ」を使って男生徒を背後から殴りつけたと証言している。

「ザップ」通称ブラックジャックとも呼ばれる凶器は、一般人が日頃持っている物で簡単に作ることのできる鈍器である。女生徒の履いていた靴下の一つに小銭を大量に入れ、小銭を大量に入れ、小銭が束になるようにしがつり髪ゴムで抑えられることでそれなりの強度を持つ凶器ができる。さらに女性であっても、遠心力を使うことで殺傷能力を上げる事が可能。